

安全に楽しく遊ぶためにも…自然を甘く見ず、危険を把握

夏本番!! レジャー中の事故に注意

水難の6割が海で発生 中高年の山岳遭難増える

夏本番を迎え、アウトドアでのレジャーを楽しむ方も多いことでしょう。しかし、毎年のように、海や川、山などでの不幸な事故に関するニュースを見聞きします。

警察庁の資料では、平成21年夏期（6月～8月）に発生した水難事故の件数は777件、水難者は948人で、そのうち死者・行方不明者は411人にのぼります。水難事故の発生場所

で最も多いのは、やはり「海」で、全体の約6割を占めています。行為別では「水泳中」がトップ、次いで「魚とり・釣り」「水遊び」での事故となっています。また、夏は子どもたちの事故も多く、中学生以下の子どもの水難は163件発生しており、水難者203人、死者・行方不明者42人となっています。

こうした事故を防ぐためにも「遊泳禁止区域など危険な場所では遊ばない」「悪天候のときは遊ばない」「子どもだ

けでは遊ばせない」「ライフジャケットを着用する」などを心がけましょう。

次に、夏山は気象条件にも恵まれ、登山者でにぎわう一方、山岳遭難も多く発生しています。平成21年夏期（7月～8月）の山岳遭難の発生件数は409件、遭難者は504人で、そのうち死者・行方不明者は65人、負傷者は216人となっています。年齢別で見ると、遭難者の7割超が40歳以上の中高年であり、死者・行方不明者では9割を占めています。

遭難の原因で、最も多いのが「疲労・病気」、次いで「転落・滑落」「転倒」となっています。山岳遭難の多くは、ちょっとした不注意や安易な行動が原因となっています。夏山の場合、気軽に登れると思われていることもあって、事前準備の不足や計画のない登山、軽装での登山、体力・技術不足など、山を甘く見たことによって遭難が発生しています。

アウトドアは、自然に触れる楽しみがある半面、自然ならではの危険があることも十分認識しておきましょう。

(警察庁資料)

平成21年夏期（6～8月）の水難発生状況

	総数	うち中学生以下の子ども
発生件数	777件	163件
水難者数	948人(411人)	203人(42人)

平成21年夏期（7～8月）の山岳遭難発生状況

	総数	うち40歳以上の中高年
発生件数	409件	—
山岳遭難者数	504人(65人)	375人(58人)

※（ ）内は死者・行方不明者。

●あなたのパートナー



保険情報サービス株式会社

〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-16-4

TEL 03-5682-7070 FAX 03-5682-7071

<http://www.hoken-joho.co.jp/>

～さあ、保険いいところ取り～

とうしんビル3F

0120-7109-32(ナツクミツE)

info@hoken-joho.co.jp